

# モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2021年8月24日～2022年2月24日

第11期決算日：2021年9月24日 第14期決算日：2021年12月23日

第12期決算日：2021年10月25日 第15期決算日：2022年1月24日

第13期決算日：2021年11月24日 第16期決算日：2022年2月24日



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり利益の獲得により、信託財産の成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第16期末 (2022年2月24日)

基準価額 11,074円

純資産総額 16,672百万円

### 第11期～第16期

騰落率 +0.6%

分配金合計(\*) 750円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

### ◆ 当作成期の運用で主眼を置いたポイント

- ・ 当作成期は米国などを中心に、インフレ懸念が継続しました。運用チームは、インフレ環境においても価格決定力によりコスト上昇を顧客に転嫁できる高クオリティ企業は、好業績が期待できると想定しました。インフレ懸念の高まりなどを背景とした不透明な経済環境下において、有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続ける「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、従来通りの運用方針を維持しました。
- ・ 主な投資行動としては、3銘柄の新規組入と1銘柄の全売却を行いました。新規組入は、世界各国でエレベーターの保守点検業務などを手掛けるOTIS WORLDWIDE CORP（米国）などを組み入れました。一方で、世界各地でたばこ事業を展開するBRITISH AMERICAN TOBACCO PLC（英国）を全売却しました。また、当作成期における主な業種別の組入比率に関しては、特段の変更はありませんでした。
- ・ 保有銘柄のうち、2021年7-9月期決算発表にて、市販薬の売り上げが堅調となったことなどが追い風となったRECKITT BENCKISER GROUP PLC（英国）の上昇などがプラスに寄りました。

### ◆ 今後の見通し

- ・ 政府債務の増加やインフレ圧力などを受けて、法人税と金利の上昇が想定されることや、予想営業利益率が高水準にあることなどを背景に、今後は1株当たり利益（予想EPS）の上昇ペースが鈍化すると想定しています。運用チームは、予想EPSの上昇ペースが鈍化する想定であることなどを理由に、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

### ◆ 運用方針

- ・ 不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン  
ト・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン  
ト・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン  
ト・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。



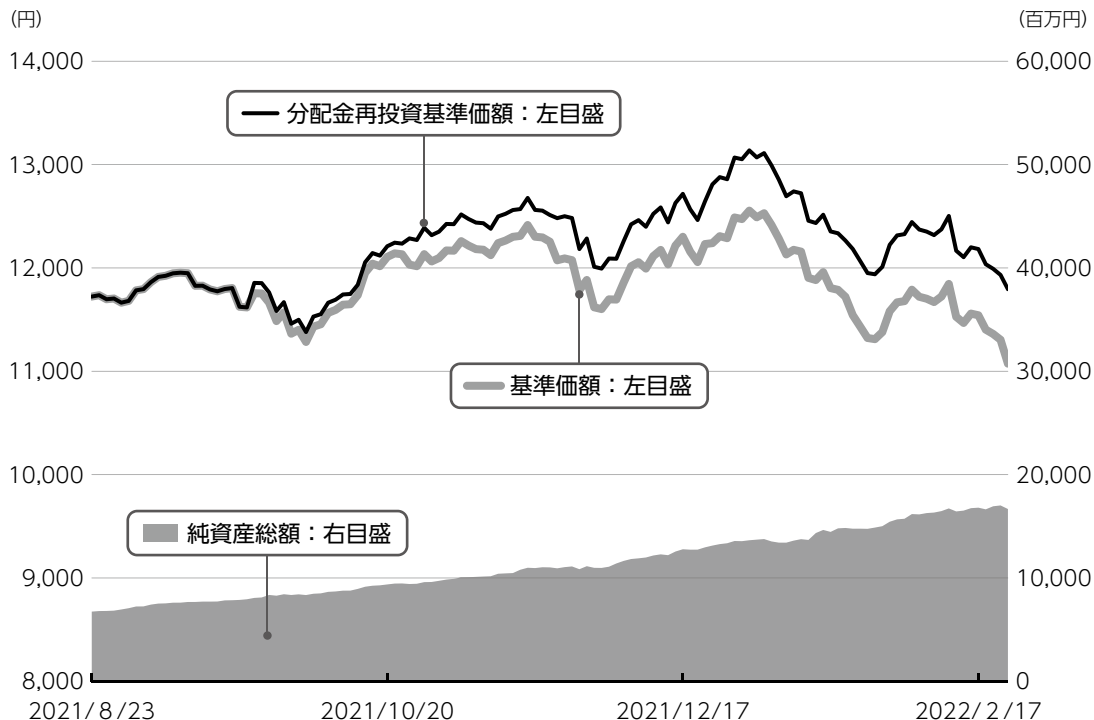
ファン  
ド・マネ  
ジャー  
ブルー  
ノ・ポ  
ール  
ソン

# 運用経過

第11期～第16期：2021年8月24日～2022年2月24日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第 11 期 首	11,723円
第 16 期 末	11,074円
既払分配金	750円
騰 落 率	0.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

RECKITT BENCKISER GROUP PLCP（英国）や PHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）の株価が上昇したことや、為替市況で米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

米国の早期利上げやウクライナ情勢緊迫化に対する懸念などを背景に先進国株式市場が下落したことや、SAP SE（ドイツ）や DANAHER CORP（米国）の株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

2021年8月24日～2022年2月24日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第11期～第16期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	119	1.002	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(70)	(0.585)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(46)	(0.390)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.010)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	121	1.025	

作成期中の平均基準価額は、11,889円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

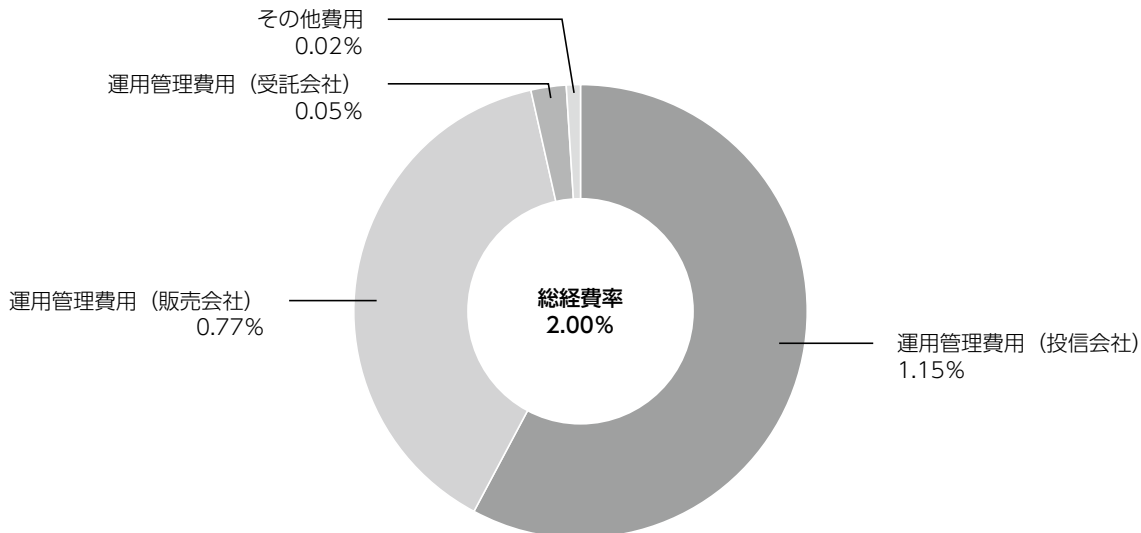
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年2月24日～2022年2月24日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

					2021/2/24 期初	2022/2/24 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	—	10,361	11,074
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	—	—	1,300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	—	—	—	—	19.4
参考指数騰落率 (%)	—	—	—	—	—	5.8
純資産総額 (百万円)	—	—	—	—	2,172	16,672

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

※参考指数は、米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第11期～第16期：2021年8月24日～2022年2月24日

▶ 投資環境について

参考指数の推移 (当作成期首を100として指数化)



▶ 株式市況

**先進国株式市場は下落しました。**

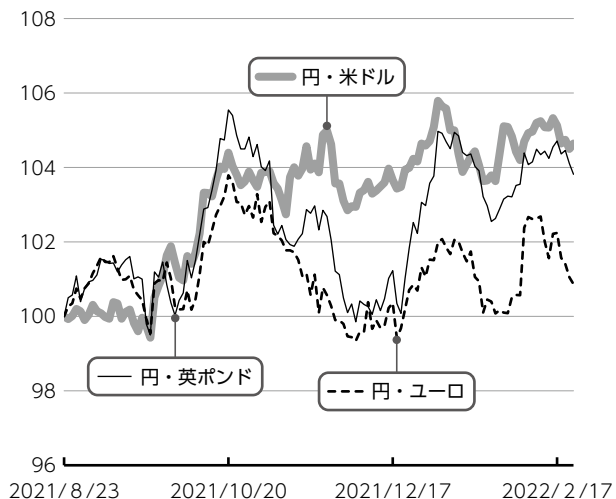
当作成期首から2021年12月にかけては、インフレ率の高止まりや米議会の大型歳出法案を巡る懸念の高まりなどから下落する局面があったものの、7～9月期の決算発表の内容が良好であったことや新型コロナウイルスのオミクロン株への懸念が後退したことなどを背景に、上昇しました。

2022年1月から当作成期末にかけては、インフレ長期化や米国の早期利上げへの懸念に加えて、ロシア・ウクライナの軍事衝突リスクへの警戒感が高まったことなどを背景に、下落しました。

セクター別では、コミュニケーション・サービスや情報技術などが下落しました。



## 為替市況の推移 （当作成期首を100として指数化、対円）



### ▶ 為替市況 米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

米長期金利が上昇したことや米国の利上げ前倒し観測が高まったことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）による資産買い入れペースが減速するとの見方が高まったことや、ECBやイングランド銀行（BOE）による利上げ観測が高まったことなどを背景に、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

### ▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

当作成期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

#### 主な新規組入銘柄

OTIS WORLDWIDE CORP（米国）：同社が手掛けるエレベーターの保守点検業務が、安定的な利益を生んでいる点などを評価して新規に組み入れました。

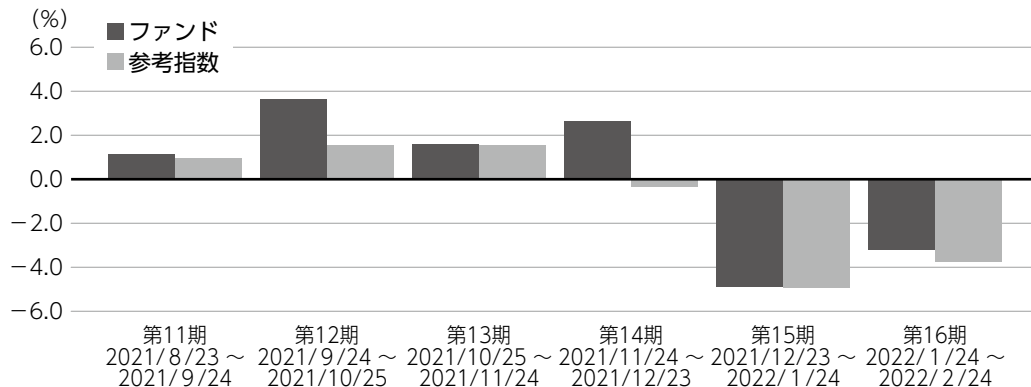
#### 全売却銘柄

BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC（英国）：同社が手掛ける加熱式たばこ事業の成長が遅いと判断したことなどから、全株売却しました。

第11期～第16期：2021/8/24～2022/2/24

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は、MSCIワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。

参考指数は、米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第11期 2021年8月24日～ 2021年9月24日	第12期 2021年9月25日～ 2021年10月25日	第13期 2021年10月26日～ 2021年11月24日	第14期 2021年11月25日～ 2021年12月23日	第15期 2021年12月24日～ 2022年1月24日	第16期 2022年1月25日～ 2022年2月24日
当期分配金 （対基準価額比率）	100 (0.844%)	150 (1.231%)	150 (1.227%)	150 (1.211%)	100 (0.859%)	100 (0.895%)
当期の収益	77	150	150	150	—	—
当期の収益以外	22	—	—	—	100	100
翌期繰越分配対象額	1,755	2,032	2,073	2,239	2,128	2,028

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

### ▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

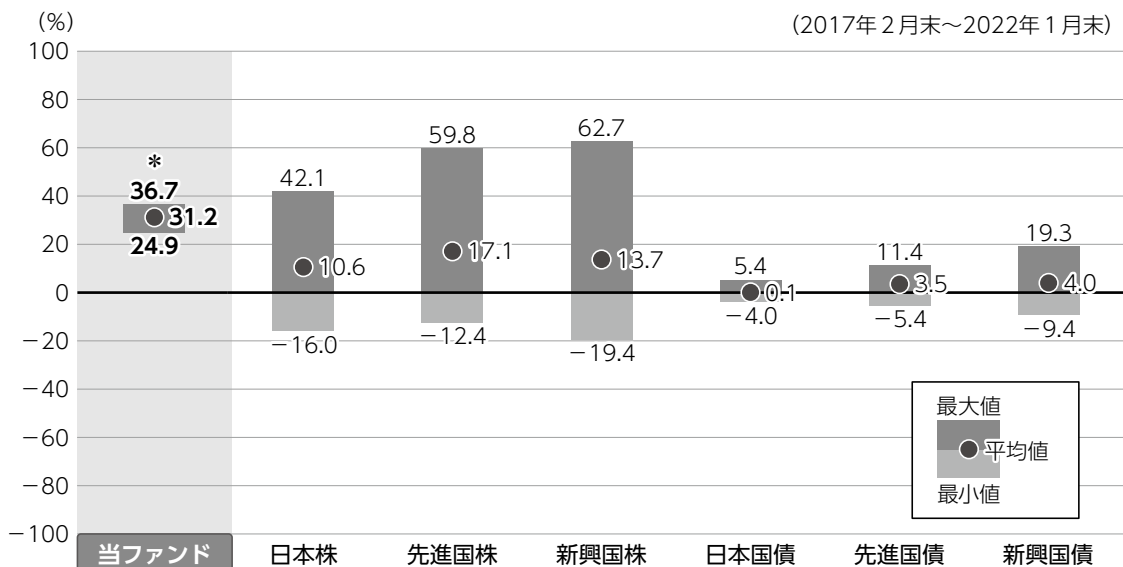
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2037年2月20日まで（2020年10月21日設定）
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	信託財産の成長を目指して運用を行います。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年2月から2022年1月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2021年10月～2022年1月の同様の騰落率を表示したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年2月24日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第16期末 2022年2月24日
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	97.7%

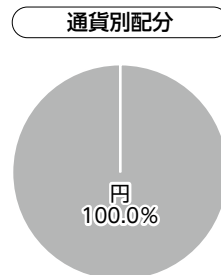
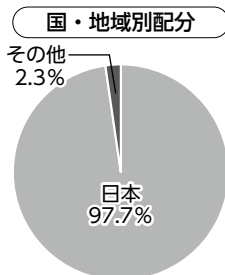
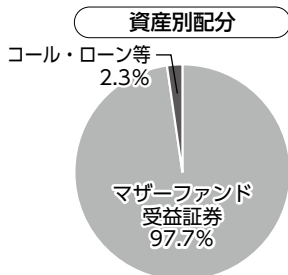
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目		第11期末 2021年9月24日	第12期末 2021年10月25日	第13期末 2021年11月24日	第14期末 2021年12月23日	第15期末 2022年1月24日	第16期末 2022年2月24日
純資産総額	(円)	8,070,934,522	9,416,028,227	10,933,875,358	13,133,494,762	14,767,650,156	16,672,418,231
受益権口数	(口)	6,865,889,436	7,825,592,615	9,055,761,316	10,730,223,671	12,793,442,581	15,054,802,269
1万口当たり基準価額	(円)	11,755	12,032	12,074	12,240	11,543	11,074

※当作成期間中（第11期～第16期）において追加設定元本は9,680,961,245円  
同解約元本は 380,556,920円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



154045

2022年2月24日現在

組入上位ファンドの概要

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

基準価額の推移

2021年8月23日～2022年2月24日



1万口当たりの費用明細

2021年8月24日～2022年2月24日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 ( 株 式 )	1 (1)	0.003 (0.003)
(b)有価証券取引税 ( 株 式 )	4 (4)	0.009 (0.009)
(c)その他費用 ( 保 管 費 用 )	4 (4)	0.008 (0.008)
合計	9	0.020

期中の平均基準価額は、48,652円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：33銘柄)

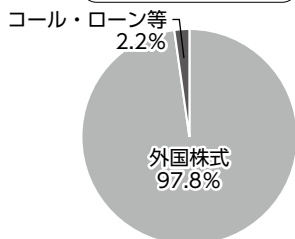
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	株式	アメリカ	生活必需品	9.6
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	情報技術	8.5
3	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	株式	イギリス	生活必需品	7.0
4	VISA INC-CLASS A SHARES	株式	アメリカ	情報技術	5.7
5	PROCTER & GAMBLE CO/THE	株式	アメリカ	生活必需品	4.7
6	BAXTER INTERNATIONAL INC	株式	アメリカ	ヘルスケア	4.6
7	DANAHER CORP	株式	アメリカ	ヘルスケア	4.6
8	ACCENTURE PLC-CL A	株式	アメリカ	情報技術	4.4
9	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	株式	アメリカ	ヘルスケア	4.3
10	ABBOTT LABORATORIES	株式	アメリカ	ヘルスケア	4.3

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

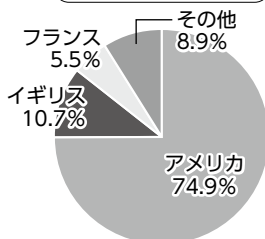
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

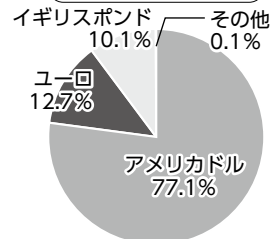
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）』について

参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。